

江古田小校長室便り 「温故創新」

H29 (2017)・0826 NO26

校長 伊波喜一

目に見えぬ 未来へ投資 学びへの 制度変えるか 勇気出すやと
若い世代をどう支えるかが、問われています。例えば大学生が利用する奨学金制度などは、特殊な借金です。返済能力を審査しないので誰でも借りられることは便利な事ですが、返済が20年近くにわたる場合もあります。(本当に返せるのだろうか?)。そう思うのは、米国の例があるからです。米国では社会人となって返済する予定だったのが、就職そのものが出来ずに返済が滞納しているケースが多発しています。日本もその例外ではなくなってきました。

人は学ぶ生きものです。それも学び続けることで、進歩します。いつ、いかなる時でも学び続けることが、ヒトを人に変えます。私達は人に投資することで、確実な未来を手にすることが出来ます。とりわけ、若い世代に投資することは、国づくりに資することと同じことです。昔、日本では経済的に恵まれない子弟に、村の乏しい経済から工面して教育を受けさせたことが、史実として残っています。教育を優先した先人の知恵に感嘆します。その英断に学び、若者の未来を価値あるものにしていきたい、そう願っています。